和歌山大学 学生挑戦コンテスト 2025　応募用紙

|  |  |
| --- | --- |
| 代表者氏名 |  |
| 応募プランのタイトル  （30字まで） | ・自分の提案内容をわかりやすく表現し、誤解なく伝わるように工夫する。  ・造語やオリジナルのサービス名は副題とする。 |
| 記入にあたって  ※項目ごとに文字数や図解、イラストなどの制限はなく、枠を自由に調整してください。  ※ただし、**全部で3～4ページ以内に収めてください**。 | |
| **①原体験、きっかけ**  ヒント：自分の身の回りで経験したことや、学んだこと。また、地元地域や日々の生活の中で感じた、「違和感」や「もったいない」、「もっとこうすれば良いのに」と思ったことなど、体験したエピソードやきっかけを書き出してください。  ・課題に関心を持った背景や原体験、問題意識。／　自分との関わりや、なぜこの課題に関心を持ったか。どういう想いでいるか。など | |
|  | |
| **②見つけた課題や背景**  起きている理由や背景は何か？なぜその問題があるのか、「誰が」「どこで」「何に困っているか」をできるだけ具体的に自分なりに想像し考えてみる。  ・問題（不満など）が発生している背景や理由・構造を簡潔に。  ・「現状→課題」を図解でシンプルにわかりやすく。データや画像などで示すことで、分かりやすくインパクトを示せる。 | |
|  | |
| **③提案したいアイデアや解決するための方法**  良くするためにどんな取り組みが考えられるか？取り組むことで、どのような良い状況になるか？新しいモノやサービスなのか、現状の仕組みを変えるか、など自由に発想していく。また、解決することで、または実現することで、誰が、どんな価値を享受できるか。（不満を解消できるか）  ・提案したいアイデア、商品・サービス・仕組み・アプリ・イベントなどをシンプルに説明する。  ・新しさ、他との比較、差別化、使いやすさ・手頃さなど、使う人に対しての価値や魅力を記述する。  ・あなた自身のイチオシポイントや特徴を強調し、想定される効果や期待値を明確にする。 | |
|  | |
| **④想定されるターゲットや市場について**  購入する人、または利用する人のターゲットを明確にする。（年齢層・ニーズ・生活背景・どんな人・地域・所属する属性など）  ・ターゲット層から、市場規模や成長性を類推する（公式なデータやアンケートを実施するなど説得力をもたせる）  ・SWOT分析やペルソナ人物像、指標を数値化するなどグラフや図解で分かりやすく示す | |
|  | |
| **⑤経済的な効果や社会的なインパクト**  実現したとき、自分が理想とするイメージやビジョンを示す。将来的に拡大していくと、どんな状況になっているか。また、経済的な効果を推定してみる。（例：携帯電話代が、半分になる地域サービスのため、該当する地域の経済効果は●●円の効果が見込める）  ・継続的に発展できるか（コストパフォーマンス、マネタイズ、収益性を推計）  ・社会的な意義、購入する人のマインドや変化、地域への効果など  ・ビフォー／アフターの図解やSDGsなどの社会的な関連づけ | |
|  | |
| **⑥必要なリソースと実現のためのプラン**  小さく始めるとしたら、まず何から試せるか。この取り組みを実現するために必要なリソースを描き出す。（必要な人・時間・お金・技術など）  ・スモールスタートでやってみる事は何か。（インタビュー、プロトタイプ製作など）  ・ターゲット層にどう提供するか、届けるか。（宣伝方法、販売方法、）  ・自身のアクションプランを大まかな時系列で示せるか（マイルストーンやチャートなど）  ・スモールスタートの実現に必要な素材や専門性や技術などを挙げ、サポートしてほしい内容などを描き出す。  ・活動支援金の使い道（交通費、取材費、材料費、会場費、機材レンタルなど） | |
|  | |
| **⑦参考資料（任意）**  ・各種統計資料や企業のリサーチやニュース記事など、参考事例を整理し、プレゼン資料や補足資料に引用してください。 | |
|  | |

※応募したプランの内容については、本賞に関するもののみで使用します。応募内容は発表することに同意したものとして取り扱いますので、知的財産に関する保護は応募者自らで行ってください。詳しくは、募集要項で確認してください。